

埼玉県地方協議会
トラック運転者の働きやすい職場環境に関する実態調査
調査票（案）

目的

- ・ 「働きやすい職場環境が整っているか」について、事業者を対象にアンケート調査を実施する。
- ・ 「トラック運転者」の働きやすさに関するアンケート調査とする。
- ・ 国交省様の近年の主な取組に「ジェンダー主流化」があり、その観点からの「働きやすさ」も調査内容に盛り込む。

※一昨年度同様、Google フォームで実施いたします。

問1. 貴社およびご回答者についてお尋ねします。

(1) ご回答者についてご記載ください。 ※必須回答

会社名		
ご回答者	氏名	部署名 役職名 電話番号 メールアドレス

(2) 貴事業所の従業員数をご回答ください。 ※必須回答

() 名

(3) 貴事業所の車両台数をご回答ください。 ※必須回答

() 両

問2. 労働時間・休日

(1) 運転者の休日労働および時間外労働の年間合計時間は、およそ平均でどの程度ですか？ ※必須回答

選択肢： ①年間 720 時間以内

②年間 720 時間超～840 時間以内

③年間 840 時間超～960 時間以内

④年間 960 時間超

(2) 運転者の労働時間を短縮する取組みを実施していますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(3) 前問で「①はい」と回答した場合、1) 実施済または実施中の取組み、2) 今後荷主に望む協力を選択してください。(複数回答可)

- ・ 予約受付システムの導入
- ・ パレット等の活用による荷役時間短縮
- ・ 発荷主からの入出荷情報等の事前提供
- ・ 幹線輸送部分・集荷配送部分の分離
- ・ 集荷先・配送先の集約
- ・ 運転以外の作業の分離（荷役・仕分け等）
- ・ 出荷に合わせた生産・荷造りの調整
- ・ 施設面の改善（荷捌き場等）
- ・ オーダー締切時間の前倒し
- ・ 高速道路の利用促進
- ・ 着時間指定の緩和・廃止
- ・ 発注量の平準化
- ・ モーダルシフト
- ・ 中継輸送
- ・ 共同配送
- ・ 社内配車の効率化
- ・ ドライバーの増員
- ・ その他（具体的に： ）

(4) 運転者の年次有給休暇の平均取得日数は何日程度ですか？（2025年度の実績でお答えください）

※必須回答

- 選択肢： ①5日未満
 ②5日以上10日未満
 ③10日以上

(5) フルタイムの運転者の年間休日数は105日以上を確保していますか？（2025年度の実績でお答えください）

※年次有給休暇を除く（年間の法定休日および法定外休日の合計が平均105日以上）

※必須回答

- 選択肢： ①90日未満
 ②90日以上105日未満
 ③105日以上

(6) フルタイムの運転者について、完全週休2日制を採用していますか？

※1年を通して、毎週2日の休日がある

※必須回答

選択肢： ①採用している（年間を通じて毎週2日休み）

②一部期間または一部従業員のみ完全週休2日制を採用している

③採用していない

(7) 運転者ごとに拘束時間、運転時間、休憩時間、休息期間を一覧表の形式で管理していますか、またはこれと同等以上の水準でソフトウェアにより管理していますか？

※必須回答

選択肢： ①全員を管理している

②一部の運転者のみ管理している、または管理項目が一部不足している

③管理していない

(8) 前問で「①全員を管理している」と回答した場合、管理方法を選択してください。
(複数回答可)

- ・ タイムカード
- ・ スマホ・パソコン等と連動した勤怠管理システム
- ・ 日報やタコグラフ（デジタコ含む）
- ・ 点呼記録簿
- ・ その他（具体的に： ）

(9) 特別有給休暇制度（例. 慶弔休暇、病気休暇、バースデー休暇、リフレッシュ休暇、ボランティア休暇、消滅有休積立制度等）はありますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(10) 前問で「①はい」と回答した場合、導入している特別有給休暇制度を選択してください。有給／無給は問いません。(複数回答可)

- ・ 慶弔休暇（結婚、出産、親族の弔事など）
- ・ 病気休暇
- ・ 生理休暇
- ・ バースデー休暇
- ・ 永年勤続休暇
- ・ リフレッシュ休暇
- ・ ボランティア休暇
- ・ 消滅有休積立制度
- ・ 育児休暇（会社独自の短期休暇制度であり、育児・介護休業法に基づく「育児休業」とは別）
- ・ 無事故・無違反褒章休暇
- ・ その他（具体的に： ）

問3. 健康管理

(1) 運転者を対象に、健康診断を年1回以上実施していますか？ ※必須回答

- 選択肢： ①全運転者に年1回以上実施している
②一部の運転者のみ実施している
③実施していない

(2) 運転者を対象に、管理職や人事担当者による人事面談を年1回以上実施していますか？ ※必須回答

- 選択肢： ①全従業員に年1回以上実施している
②一部の従業員のみ実施している
③実施していない

(3) 運転者の健康状態や疲労状況の把握等のための機器を導入していますか？

※必須回答

- 選択肢： ①はい
②いいえ

(4) 前問で「①はい」と回答した場合、導入している機器を選択してください。(複数回答可)

- ・ 生体情報測定機器 (心拍数モニター、血圧計、皮膚温度センサーなど)
- ・ 疲労・覚醒度測定機器 (眼球運動・まばたき検知センサー、脳波計、反応速度測定装置など)
- ・ 車両搭載型モニタリングシステム (ドライバー監視カメラ、ステアリング操作解析装置、アクセル・ブレーキ操作パターン解析装置など)
- ・ ウェアラブルデバイス (スマートウォッチ、フィットネストラッカーなど)
- ・ アルコール検知器
- ・ 呼気分析装置 (疲労やストレス指標の推定)
- ・ その他 (具体的に：)

(5) 従業員の心身の不調を未然に防ぐ取り組みを実施していますか？

※メンタルヘルス診断、苦情対応研修、健康に関する教育機会の設定等を想定

※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(6) パワハラ、セクハラ等のハラスメントの相談窓口となる部署または担当者、連絡先等を社内掲示等により従業員に周知していますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(7) 健康保険法、厚生年金保険法、労働者災害補償保険法および雇用保険法に基づく社会保険等加入義務者として、社会保険等に適切に加入していますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

問4. 安全運転・教育

(1) 安全運転のための教育や訓練を定期的実施していますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(2) 車両に衝突被害軽減ブレーキや車線逸脱警報などの安全装置を装備していますか？

※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(3) 前問で「①はい」と回答した場合、導入している装置を選択してください。(複数回答可)

- ・ 衝突被害軽減ブレーキ (AEBS) : 前方の車両や障害物を検知し、衝突の危険がある場合に自動でブレーキを作動させる。
- ・ 車線逸脱警報 (LDW) : 走行中に車線から逸脱しそうになると警報で知らせる。
- ・ 車線維持支援システム (LKA) : 車線中央を維持するようステアリング操作を支援する。
- ・ 前方衝突警報 (FCW) : 前方車両との距離が急速に縮まった場合に警報を発する。
- ・ 後方死角検知 (BSD) : 車両の死角に他車がいる場合に警告する。
- ・ 後方交差車両警報 (RCTA) : 駐車場などで後退時に左右から接近する車両を検知し警告する。
- ・ アダプティブクルーズコントロール (ACC) : 前方車両との距離を保ちながら速度を自動調整する。
- ・ 横滑り防止装置 (ESC) : 急ハンドルや滑りやすい路面で車両の安定性を保つ。
- ・ その他 (具体的に:)

(4) 腰痛、転落等の労働災害の発生の防止や業務の軽労働化・快適化のための設備投資を行っていますか? ※必須回答

- 選択肢: ①はい
②いいえ

(5) 前問で「①はい」と回答した場合、導入した機器や対策を選択してください。(複数回答可)

- ・ テールゲートリフター
- ・ パワーアシストスーツ
- ・ フォークリフト
- ・ AT車
- ・ トイレ・休憩室の改善
- ・ 作業場等への手すり設置
- ・ 段差の解消
- ・ 照度の確保
- ・ その他 (具体的に:)

問5. 多様な人材の確保・育成（女性、シニア、若年層、外国人等）

(1) 多様な人材の確保・育成のための免許・資格取得支援制度を設けていますか？

※必須回答

- 選択肢： ①はい
 ②いいえ

(2) 前問で「①はい」と回答した場合、対象としている免許・資格を選択してください。

(複数回答可)

- ・ 普通自動車第一種運転免許
- ・ 準中型自動車免許
- ・ 中型自動車免許
- ・ 大型自動車免許
- ・ けん引免許
- ・ 運行管理者
- ・ フォークリフト
- ・ クレーン
- ・ 危険物取扱者
- ・ 衛生管理者
- ・ その他（具体的に： ）

(3) 常時選任する運転者について、以下の区分ごとの割合をお答えください。

※必須回答

- 1) 女性
- 2) シニア（おおむね 60 歳以上）
- 3) 若年層（おおむね 30 歳未満）
- 4) 外国人

- 選択肢： ①0%（いない）
 ②1～4%
 ③5～9%
 ④10～29%
 ⑤30%以上

- (4) 貴事業所では、特定技能外国人ドライバーを採用していますか、または採用予定がありますか？ ※必須回答

選択肢： ①現在採用している

②採用予定がある

③採用しておらず、予定もない

④わからない

- (5) 前問で「①はい」と回答した場合、特定技能外国人ドライバーの人数をご記入ください。

(名)

- (6) 営業所に女性専用の施設 (トイレ、更衣室、仮眠施設または睡眠施設 (必要な営業所の場合)) がありますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

- (7) 前問で「①はい」と回答した場合、整備している女性専用の施設を選択してください。(複数回答可)

- ・ トイレ
- ・ 更衣室
- ・ 休憩スペース
- ・ 仮眠施設または睡眠施設
- ・ シャワー室・浴室
- ・ 女性専用車 (または一人一車制)
- ・ その他 (具体的に：)

- (8) 運転者の多様なニーズに対応した勤務シフトを設けていますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(9) 前問で「①はい」と回答した場合、導入している勤務シフトを選択してください。

(複数回答可)

- ・ 育児中の運転者の早朝勤務・夜間勤務免除
- ・ 育児中の運転者の残業免除
- ・ 中番がない早番・遅番の2シフト制
- ・ 短時間勤務(時短運行)
- ・ 短日数勤務(週休3日制など)
- ・ 固定ルート・固定時間運行
- ・ 日帰り運行限定(長距離・宿泊運行なし)
- ・ 隔日勤務(勤務日と休日を交互に設定)
- ・ 繁忙期・閑散期に応じた変形労働時間制
- ・ その他(具体的に：)

(10) 運転者が利用できる仕事と家庭の両立に役立つ福利厚生制度を設けていますか？

※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(11) 前問で「①はい」と回答した場合、導入している制度を選択してください。

(複数回答可)

- ・ 社内保育所
- ・ 提携保育所
- ・ ベビーシッター補助
- ・ 介護サービス利用補助
- ・ 育児休暇
- ・ 介護休暇
- ・ 子の看護休暇
- ・ 家族看護休暇
- ・ 時短勤務制度(育児・介護対応)
- ・ ダブル公休(連続2日休み)
- ・ 希望日休(事前申請による休日取得)
- ・ 休暇の時間単位取得制度
- ・ 連続休暇制度(夏季・年末年始など)
- ・ その他(具体的に：)

(12) 男性運転者の育児休暇制度利用実績はありますか? ※必須回答

- 選択肢: ①長期(1カ月以上)の利用実績がある
 ②中期(2週間以上1カ月未満)の利用実績がある
 ③短期(1日~2週間未満)の利用実績がある
 ④利用実績はないが制度はある
 ⑤制度自体がない

問6. 職場環境改善の取組み

(1) ジェンダー平等や多様性、ハラスメント防止に関する研修を実施していますか?

※必須回答

- 選択肢: ①はい
 ②いいえ

(2) 前問で「①はい」と回答した場合、**実施している研修**を選択してください。(複数回答可)

- ・ アンコンシャス・バイアス研修(無意識の思い込みが採用・評価・配置に与える影響を学ぶ)
- ・ ハラスメント防止研修(セクハラ、マタハラ、パタハラ、SOGIハラ等の理解と対応)
- ・ LGBTQ/SOGI理解研修(用語、配慮事項、当事者が直面しやすい課題の理解等)
- ・ ジェンダー平等(DEI)基礎研修(関連法令、職場の公平性、インクルーシブな職場づくり等)
- ・ 管理職向けマネジメント研修(公平な評価・育成、相談対応、チーム運営等)
- ・ 育児・介護と仕事の両立支援研修(制度理解、取得促進、代替要員・業務設計等)
- ・ インクルーシブ・コミュニケーション研修(呼称・言葉選び、合意形成、心理的安全性等)
- ・ ケーススタディ/ロールプレイ研修(ハラスメント相談を受けた際の初期対応や、性別・年齢・国籍などが異なるメンバーとの業務調整を題材としたケーススタディなど)
- ・ その他(具体的に:)

(3) 会社または対象事業所全体における女性管理職の割合を、以下の役職区分ごとにお答えください。 ※必須回答

- 1) 係長・主任相当職
- 2) 課長相当職
- 3) 部長相当職
- 4) 役員（取締役、執行役員等）

選択肢： ①0%（いない）

②1～4%

③5～9%

④10～29%

⑤30%以上

(4) 労働安全衛生、健康経営、次世代育成支援、若者の採用・育成、女性の活躍促進、環境経営等に取り組む優良な事業者等として公的な認定・認証等、または、国、地方自治体、警察または陸上貨物運送事業労働災害防止協会、交通安全協会から、長時間労働の是正等の働き方改革や労働安全衛生、交通安全に関する表彰を受けたことがありますか？ ※必須回答

選択肢： ①はい

②いいえ

(5) 前問で「①はい」と回答した場合、取得している認定・認証等、受けた表彰制度を選択してください。（複数回答可）

- ・ 安全衛生優良企業（厚生労働省）
- ・ 健康経営優良法人（経済産業省）
- ・ くるみん（厚生労働省）
- ・ ユースエール（厚生労働省）
- ・ えるぼし（厚生労働省）
- ・ 女性ドライバー応援企業認定制度（国土交通省）
- ・ 労働安全マネジメント、環境マネジメント、道路交通安全マネジメント、品質マネジメント、衛生・安全・環境マネジメントに関する ISO 認証(Ex. ISO45001、ISO14001、ISO39001、ISO9001、HSE 等)
- ・ 貨物自動車運送事業安全性評価事業（G マーク制度）
- ・ グリーン経営認証制度（交通エコロジー・モビリティ財団）
- ・ 引越事業者優良認定制度（引越安心マーク）
- ・ 優秀安全運転事業所表彰（自動車安全運転センター）
- ・ その他（具体的に： ）

問7. 【自由記述】運転者の「働きやすい職場環境」を進めていく上で、ご意見、ご要望等がございましたら、ご自由にご記入下さい。

以上